

# レポートの書き方ガイド別冊 「ChatGPT 活用法」

現在、多くの大学では生成 AI の使い方についてはっきりとしたルールが整備されていません。ただし、それは自由に使っていていいということではありません。誤った使い方が情報漏洩や不正行為を引き起こし、大きなトラブルにつながる可能性もあります。このガイドを通じて、レポート作成時に役立つ生成 AI の使い方や注意点を学び、うまく使いこなせるようになりましょう！

大分大学では、学生の皆さんが生成 AI を利用する時に注意すべき事項について「生成系 AI(Generative AI)の利用に関する注意事項について」で通知されています。授業やレポートで ChatGPT などを使う前に、必ず一度確認しましょう。

## 生成系 AI (Generative AI) の利用に関する注意事項について (令和5年4月27日付け通知)

令和5年(2023年)4月27日

学生の皆さんへ

### 生成系 AI(Generative AI)の利用に関する注意事項について

最近になって発表された、生成系 AI (Generative AI) と呼ばれる新しい世代の AI ツールは、デジタルの画像や動画、音声や音楽、文章やプログラムコードなどを一定の品質で簡単に生成することができます。ユーザとの対話からテキストを生成できる「ChatGPT」がその代表です。これらが生成するテキストや画像の質は、従来の技術と比較して各段に改良されているだけでなく、誰でも手軽に利用できる環境が整備されており、近い将来、学生の皆さんが社会で活躍する頃には様々な場面で当たり前を活用する時代になっているかもしれません。

しかしながら、現状において、ChatGPT をはじめとする生成系 AI を学修に利用する際には、様々な注意が必要です。以下に、その注意点を示します。

**注意！**

#### 学修における生成系 AI の利用に関する注意事項

- ▶ 生成系 AI の出力には誤りが混ざっていることも多く、その出力が正しい内容か、誤った内容なのか、自身でしっかり確認する必要があります。
- ▶ 未発表の論文や秘密にすべき情報（個人情報やプライバシー情報等）を生成系 AI に入力してしまうと、それらの情報が意図せず流出・漏えいしてしまう可能性があります。
- ▶ 授業によっては、生成系 AI の利用を禁止したり限定したりすることがあり、場合によっては、生成系 AI を利用したレポート等の作成が剽窃（他者の文章などの文句または説を盗みとって、自分のものとして発表する不正行為）とみなされる可能性があります。担当教員の指示に従ってください。

今後、生成系 AI がもたらす様々な社会の変化を注視しながら、そのより良い活用法や問題点について議論し、本学の学生や教職員がどう対応すべきかの方針をまとめていく予定です。

“生成系 AI(Generative AI)の利用に関する注意事項について(令和5年4月27日付け通知)”. 大分大学. 2023/04/27. <https://www.oita-u.ac.jp/01oshirase/20230501.html>  
(参照:2024/01/24)

一見なんでもできそうに思える生成系 AI ですが、得意なこと・苦手なことがあります。ここからはレポート作成時の ChatGPT の活用例や、利用上の注意点を紹介します。

## ◆ 活用例

### ① アイディア出し

テーマがなかなか決まらないときは、次の質問で AI に案をだしてもらいましょう！

・”～というテーマのレポートについて、いくつかアイディアを紹介してください”

もしその中に興味のあるテーマがなければ、

・”～の分野で教えてください”

・”ほかのテーマをいくつか紹介してください”

など、対話の中で自分の書きたいものを探してみましょう。

### <例>



#### Anonymous

「生成AIの利用について、自由に述べなさい」というテーマのレポート課題について、話題のアイディアを3つ教えてください。



#### ChatGPT

生成AIの利用に関するレポート課題に取り組む際に考慮すべき興味深いアイディアを以下にいくつか挙げてみます。これらのアイディアを元に、それぞれについて詳しく調査し、論じることができます。

#### 1. 創造的な表現とアートへの生成AIの応用:

- 生成AIが芸術作品やクリエイティブな表現にどのように活用されているかに焦点を当てることができます。例えば、AIによる絵画、詩、音楽の生成についての進展やアートと技術の融合について議論することができます。

#### 2. 医療診断と治療の向上:

- 生成AIが医療分野でどのように役立っているかについて調査できます。患者のデータからの予測や、画像解析を通じた病気の早期発見、治療法の提案など、医療への生成AIの応用について詳しく取り上げることができます。

#### 3. フェイクニュースおよび偽造映像の問題への対処:

- 生成AIが生成するテキストや映像が偽造され、誤解を招く可能性がある問題に焦点を当てることができます。フェイクニュースやディープフェイクの問題に対処するための技術的および倫理的な側面について論じ、可能な対策について提案することができます。

これらのアイディアは、生成AIがさまざまな分野でどのように利用されているかや、その利用に伴う課題や潜在的なリスクについて考察する際の出発点となるでしょう。それぞれのテーマにおいて、技術的な側面だけでなく、社会的、倫理的な側面も含めて総合的な分析を行うことが望ましいです。

## ② 文章の要約

「すぐに知りたいことがあるのに、文章が長すぎてどこにあるか分からない...」

「そもそもこの文章の中にほしい情報があるか分からない...」

そんな時は、次の質問で文章を要約してもらいましょう。

・”以下の文章を（～字で）要約してください [ 文章 ]”

### <例>



#### Anonymous

以下の文章を、300字程度で要約してください。

##### 生成系 AI(Generative AI)の利用に関する注意事項について

最近になって発表された、生成系 AI（Generative AI）と呼ばれる新しい世代の AI ツールは、デジタルの画像や動画、音声や音楽、文章やプログラムコードなどを一定の品質で簡単に生成することができます。ユーザとの対話からテキストを生成できる「ChatGPT」がその代表です。これらが生成するテキストや画像の質は、従来の技術と比較して各段に改良されているだけでなく、誰でも手軽に利用できる環境が整備されており、近い将来、学生の皆さんが社会で活躍する頃には様々な場面で当たり前を活用する時代になっているかもしれません。

しかしながら、現状において、ChatGPTをはじめとする生成系 AI を学修に利用する際には、様々な注意が必要です。以下に、その注意点を示します。

##### 学修における生成系 AI の利用に関する注意事項

生成系 AI の出力には誤りが混ざっていることも多く、その出力が正しい内容か、誤った内容なのか、自身でしっかり確認する必要があります。

未発表の論文や秘密にすべき情報（個人情報やプライバシー情報等）を生成系 AI に入力してしまうと、それらの情報が意図せず流出・漏えいしてしまう可能性があります。

授業によっては、生成系 AI の利用を禁止したり限定したりすることがあり、場合によっては、生成系 AI を利用したレポート等の作成が剽窃（他者の文章などの文句または説を盗みとって、自分のものとして発表する不正行為）とみなされる可能性があります。担当教員の指示に従ってください。

今後、生成系 AI がもたらす様々な社会の変化を注視しながら、そのより良い活用法や問題点について議論し、本学の学生や教職員がどう対応すべきかの方針をまとめていく予定です。



#### ChatGPT

最新の生成系 AI（Generative AI）は、画像、動画、音声、音楽、文章、プログラムコードなどを高品質に生成できるツールであり、ChatGPTなどはユーザとの対話からテキストを容易に生成できます。しかし、これらの利用には慎重な注意が必要です。生成 AI の出力には誤りが含まれることがあり、内容の正確性を確認する必要があります。未発表の論文や機密情報を入力すると、情報が漏えいする可能性があります。また、一部の授業では生成 AI の使用が禁止され、その違反は剽窃と見なされる可能性があります。今後は、生成 AI がもたらす社会の変化を注視し、適切な活用法と問題点について議論し、大学の方針を検討していく予定です。

### ③ 文章等の校正

自分の書いた文章の添削だけでなく、プログラムのチェックなどにも使えます。

- ・”この文章を校正してください [ 文章 ]”
- ・”以下のプログラムのエラー箇所を教えてください [ プログラム ]”

<例>



Anonymous

以下のPythonプログラムは、1~10の整数の中から奇数のみを表示するものですが、結果が正しくありません。エラー箇所を特定して、端的に教えてください。

```
i = 0
while i <= 10:
    if i / 2 != 0:
        print(i)
    i = i + 1
```



ChatGPT

プログラムのエラー箇所は、条件式が間違っています。奇数を判定するためには、`i / 2`が0でないのではなく、`i % 2`が1である必要があります。したがって、`if i / 2 != 0`を`if i % 2 != 0`に修正してください。

修正後のコード:

```
python Copy code
i = 0
while i <= 10:
    if i % 2 != 0:
        print(i)
    i = i + 1
```

この修正により、奇数のみが正しく表示されるようになります。`%`演算子は剰余（余り）を計算し、奇数の場合は余りが1になります。

### 生成AI利用のコツ

#### ① 質問や指示は明確に

前提条件や制約を教えると、良い回答が得やすいです

#### ② 指示が長文になる時は分割する

生成AIにとっても長文は理解しづらいです

#### ③ 求めている回答形式を指定する

箇条書きや表形式など、好きな形で答えてくれます

## ◆ 利用上の注意点

### ① レポートへのコピペは NG

生成 AI の回答をそのままレポートとして提出することは絶対にダメです！

一部の大学では、「生成 AI で作成した文章をそのままレポートなどの一部または全部に利用した場合は、『剽窃』とみなされることがある」\*などと注意喚起しています。また現在、AI で作成されたテキストを検出するサービスの開発も進んでいます。AI の利用は補助として、自分の力でレポートを完成させましょう！

\*大村直人. “ChatGPT をはじめとする生成 AI の利用に関して”. 神戸大学. 2023/04/27.

[https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/sub\\_student/2023\\_04\\_27\\_01.html](https://www.kobe-u.ac.jp/NEWS/sub_student/2023_04_27_01.html) (参照: 2024/01/24)

### ② 回答が正しいか調べる

生成 AI の、「もっともらしいデタラメ」に注意！ AI の回答は、一見正しそうでも内容はメチャクチャなことが多いです。正確な情報を得るために、別の情報源で確認することを意識しましょう。



Anonymous

大分県の郷土料理を教えてください。



ChatGPT

大分県は九州地方に位置し、美味しい海産物や地元の食材を活かした郷土料理が楽しめます。以下は、大分県の代表的な郷土料理のいくつかです。

#### 1. とり天（とりてん）：

- 大分ではとり（鶏）の天ぷらが有名です。新鮮な地元産の鶏肉をサクサクの衣で揚げ、たれや塩で味付けされます。軽い食感と濃厚な風味が楽しめます。

#### 2. ほてぢゅう（ほてじゅう）：

- 大分市で広く親しまれている郷土料理で、薄い生地で包まれたもち米の皮の中に、具材やタレが詰まった焼きおにぎりのような料理です。多様なバリエーションがあります。

#### 3. 竹輪寿司（ちくわずし）：

- 大分の温泉地別府市で親しまれている寿司の一種で、竹輪（ちくわ）の中に酢飯や具材を詰めています。温泉地の土産物としても人気があります。

#### 4. からし蓮根（からしれんこん）：

- 蓮根をからし味噌で漬け込み、揚げた郷土料理です。からしの辛さがアクセントとなり、サクサクとした食感が楽しめます。

#### 5. ぶっかけうどん：

- 大分では讃岐うどんとは異なる独自のうどんが楽しめます。麺が太く、濃いダシと地元の具材が特徴的です。

これらの料理は大分県ならではの食材や調理法を反映しており、観光や地元の方々に愛されています。

誤った情報も  
「もっともらしく」回答

(参考)

田邊竜大. “ChatGPT で論文やレポートの作成はできる？便利な活用法も解説！”. 優良 WEB. 2023/11/29. <https://yuryoweb.com/chatgpt-dissertation/>, (参照: 2024/01/24)

ういる. “【安全】ChatGPT を使った論文・レポートの書き方【注意点あり】”. Will-blog. 2023/08/23. <https://will-blog.com/chatgpt-paper/#st-toc-h-11>, (参照: 2024/01/24)

“ChatGPT はレポートに使えるのかについて解説”. App Story. 2023/04/12. <https://app-story.net/chat-gpt-report/>, (参照: 2024/01/24)

## 2024.3 レポートの書き方相談デスク作成